

工業倶楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

発行／(社)鹿児島県工業倶楽部 企画・編集／広報・デザイン開発委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1県産業会館内
TEL099-225-8012 FAX099-225-8020 http://www.ikic.or.jp E-mail:info@ikic.or.jp

2009
会報：No.43

7

平成21年度
(社)鹿児島県工業倶楽部

通常総会

日時：平成21年5月25日(月) 14:00～

場所：ジャングルパークベイサイドガーデン

川崎暢義会長から、倶楽部運営の諸課題や鹿児島大学との産学連携のもとでの大学の積極活用等についての開会挨拶の後、来賓を代表して鹿児島大学の吉田浩己学長から、大学は地域貢献が主要テーマになっていること工業倶楽部賞が学生の励みに効果的であることなどのお言葉を賜りました。

続いて、来賓13名、賛助会員10名の紹介が行われました。

総会の成立宣言が行われた後、南日本マイクロコンピュータ(株)の野元幸浮氏が議長に選出され議事に入りました。



九州経済産業局 橋高局長

議事録署名人に、(株)鹿児島頭脳センターの山下博美氏、協業組合ユニカラーの松崎洋一郎氏を選任したうえで、第1号議案から第4号議案まですべて原案通り承認または可決されました。

次に、第5号議案の理事選任について、改選期は来年であるが数人の理事から辞任の申し出があったので代替りの理事を選任したいとし、執行部案により選任されました。

最後に、総会次第のその他に移り、九州イノベーション創出促進協議会(KICC)ほかから、会員の皆さんへそれぞれ貴重な情報提供が行われました。



CONTENTS

特集：通常総会	1・2	未来のふるさとを担う高校生の皆様へ	4
デジアナの商品開発	2	2009 各委員会の年間活動計画	5
中小企業人材確保推進事業について	3	事務局からのお知らせ	6

休憩を挟んで、記念講演会に移り、経済産業省九州経済産業局の橘高公久局長による「九州地域の活性化に向けて」と題した講演が行われました。講演では、“九州は産業構造が面白い”、農林水産業がベースにありながら我が国の輸出産業の中心をなす自動車、半導体、造船、鉄鋼が立地していると、九州の産業の特徴や我が国経済に占める位置、世界特にアジアとのあり方等についてデータを示しながら説明がありました。



また、農商工連携、観光、医商連携を通じた活性化について、マダム・ボー(株)、濱田農学部(株)の農商工連携事業、日本有機(株)の地域資源活用事業のほか、当倶楽部の農商工等連携支援事業のユニークさなどの紹介がありました。最後に、今回の経済危機対策について説明があり、今後の事業展開の方向性や連携のあり方等につき多くの示唆を頂くなど、出席者に大変好評でした。

交流パーティでは、講師の橘高局長はもとより、岡積鹿児島県副知事、吉留(財)かごしま産業支援センター理事長、中山、前田両鹿大理事等々総会にお見えの来賓、賛助会員各位も参加され大変な盛り上がりとなりました。

会員にとっては、普段親しく接することの少ない国、県、大学の皆様や、久しぶりの会員との懇親が貴重な交流の機会となったはずであり、今後の活動に大いに役立っていくものと思われま

デジアナの商品開発

株式会社フォーエム
代表取締役 森重匡世

人間は本来、アナログの精神・肉体構造を有しているにもかかわらず、あまりにもデジタル化が進んだ社会になり、人間の豊かな感性が失われつつある。

デジタルが進化する過程の中で

- 鉛筆、ペンを持たない(キーボードのテンキーで入力)
- 文字を書かない(携帯、メールで伝達)
- 暗算しない(電卓で計算)
- 本、新聞を読まない(テレビ、携帯で情報を入力)

等…キリがない。

このように効率化や便利さを追求するデジタル化によって、脳細胞や身体が劣化する要因となり、人間がバランスを失っている状況が社会現象にも表れている。

生命誕生以来、人間の目・耳・口・鼻・手にはデジタルの信号を接続するプラグは存在しないし、人間の動作、思考は全てアナログの視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚・感覚によって脳が感知し、指令している以上、デジタルとアナログのバランスのとれたデジアナのインターフェイス(人とモノとの新しい接点)を具現化することがプロダクトデザイナーとしての課題であり、商品開発の原点でもある。

■アナログからデジタルへの進化例

- 銀板フィルム、カメラ ⇒ デジタルカメラ
- ピアノ、弦楽器 ⇒ エレクトーン、シンセサイザー
- レコード、テープ ⇒ CD、iPod
- 計算尺、ソロバン ⇒ 電卓
- 鍵 ⇒ 電子ロック
- ゼンマイ針時計 ⇒ デジタル時計
- 百科辞典 ⇒ パソコン
- 手紙 ⇒ 携帯通信
- ラジオ ⇒ デジタルテレビ
- 辞書 ⇒ 電子辞書
- 聴診器 ⇒ MRI
- 鉛筆 ⇒ キーボード、テンキー
- その他

●紙とペンでパソコンに自由に入力

資料: NIKKEI DESIGN 2008.10



人 こ そ

財 産

鹿児島県工業倶楽部では、会員企業における人材の確保や育成・定着を支援するため、魅力ある職場づくり等を推進するとともに若者たちにもものづくりへの関心を持ってもらう事業を展開しています。

◆◆◆◆ 中小企業人材確保推進事業について ◆◆◆◆

人材確保検討委員会 委員長

㈱鹿児島頭脳センター 専務取締役 山下 博美

「人材」を辞書で引くと、才能のある人、役に立つ人物とあります。

ということは、人材確保というのは才能のある人、役に立つ人を確保するということになる訳ですが、そう思うようにいかないのも現実かと思えます。

「人財」であれば言うこと無し、「人在」ではもの足りず、「人罪」では困ったこと、この事業が「人財」たる人材の採用、育成、確保に少しでもお役にたてば幸いです。

事業の中身は、平成20年度から3年間、魅力ある職場環境づくり・教育訓練の充実・優秀な人材の確保・従業員のレベルアップ等を図ることを目的とするもので、先般、初年度を終えたところです。会員の皆様方には、厳しい経済状況の最中に種々のアンケートをお願いしたり、セミナーへの参画を頂いたり、多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

因みに、平成20年度に実施しました内容は次の通りです。

- ① 労働力需給及び雇用管理状況の調査
- ② 事業主に対する意識調査

- ③ 従業員に対する意識調査
- ④ 当事業のフォローアップ調査
- ⑤ 雇用管理改善マニュアルの作成配布
- ⑥ 雇用管理改善セミナーの開催
- ⑦ 工業倶楽部パンフレット、リーフレットの作成配布
- ⑧ 企業要覧の作成配布
- ⑨ パソコン研修
- ⑩ モデル企業見学会・意見交換会

「企業は人なり」、「松下はものを作る前に人をつくる」皆様もよくご存じの松下幸之助の言葉です。では、企業は人なりと言いますが、人のどこを指すのでしょうか？ 知識・技能を高めることでしょうか？ 心の改善・成長でしょうか？ どちらも重要なことだと思いますが、貴社での優先度は？ 一度、考えてみるのもいかがでしょうか？

最後に、この事業に今年度、次年度も引き続きご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成21年度中小企業人材確保推進事業行事予定

予定月	事業の概要	予定月	事業の概要
7月	パソコン研修 ①エクセル入門 ②エクセル関数活用 ③ビジネスメールの基礎 ④プレゼンテーション活用	11月	かごしま産業おこしフェア等への参加 地域住民等に対し当工業倶楽部をPRする。
8月	人事管理研修会、人材育成研修会の開催 人事管理の具体的方法、同僚や職場間でのコミュニケーションに関する事等について研修。 開催場所 ①鹿児島市内 ②薩摩川内市内	1月	従業員永年勤続表彰 従業員のモラル向上の一環として表彰を実施し、職場の活性化と従業員の定着化をはかる。
	人事管理マニュアル、人材育成マニュアルの作成配布	2月	全会員へアンケート 事業の定着、普及状況を把握するとともに、雇用管理の改善に継続的に取り組む上での課題を把握するためのアンケートを実施。
9月	モデル企業見学会・意見交換会 社員教育に熱心な企業を訪問し、人材育成等に関して意見交換等し研修する。 訪問先 隣県の企業（熊本県または宮崎県）	3月	21年度推進事業実施報告書の作成・配布 今年度実施した事業内容をまとめて配布し報告する。

◆◆◆◆ 未来のふるさとを担う高校生の皆様へ ◆◆◆◆

いつかは、何らかの職業を選択して社会へ出て行くこととなる高校生の皆さん、将来どんな仕事に就きたいと思っているのでしょうか。銀行やデパートのようにお客さんと向き合う仕事？官公庁の仕事？それとも御両親と同じ道でしょうか。

身近に接する仕事はだいたいサービス業と呼ばれるものようですが、それ以外にいろんな仕事があるのも事実です。いずれにしても一生の問題ですから慎重にそして悔いのない進路選択をしてほしいと思います。

ところで、鹿児島県工業倶楽部には、主に製造業や加工業を含む企業が加入しており、各企業は新しい技術の開発や新しい商品作りなどを目的に、大学とも連携して勉強会や交流会を行っています。

このことは、とりもなおさず各企業がそれに適した人材を常に必要としていることを意味しています。社会が必要とする商品や製品を生み出すために、企業では例えば企画部門、技術部門、製造部門、販売や経理部門などに配置された人材が専門的に仕事をしているのです。ものづくりと呼ばれるこれら製造や加工の仕事は、サービス業と異なり地味ですが社会に絶対に必要であり、技術を通して社会の基礎を支えています。

鹿児島県工業倶楽部は、皆さんの目に触れる機会が少ないこのものづくりの大切さを知ってもらいたいと思っています。高校生のインターンシップも受け入れていますので、産業の基盤を形成しているものづくりというものには是非関心を持っていただきたいのです。そしてひとりでも多くの皆さんが、将来ものづくりに関係する分野の仕事に就いて、未来のふるさとを立派に担ってくれることを期待しているのです。

人材確保推進員
(社)鹿児島県工業倶楽部事務局長 岩切久治



2009 各委員会の年間活動計画

【平成21年度第2回理事会】

通常総会終了後初めて開催された理事会において、各委員会では総会で議決された平成21年度事業計画にもとづき活動することを確認するとともに、当面次のようなスタンスと予定により活動を進めていくこととした。

総務企画委員会

各委員会との連絡調整を図りながら倶楽部運営の総括を行う。また、組織強化の推進、倶楽部のイメージアップ促進等を図ることとし、工業倶楽部利活用の手引き作成や新年大会を企画するとともに、九州経済産業局や県、鹿児島市等との交流、連携を図る。

異業種交流委員会

異業種交流を推進し地区プラザ等の活性化を図るため、農商工等連携支援事業に取り組み、農商工出会い交流会（川薩、鹿屋）や農商工連携推進大会等を実施する。

さらに県外の経済団体等との交流を推進し、「ものづくりフェスタ」のあり方についても引き続き検討していく。

産学官連携委員会

鹿児島大学、高専との連携・交流の促進を図ることとし、競争的資金導入への仕組みづくりを構築するとともに、情報交換会や産学官連携成果発表会等を開催する。

広報・デザイン開発委員会

鮮度の高いもの、生きた情報を掲載するなど工業倶楽部会報の充実を図り、発行（7月、9月、12月、2月）は4回とする。

さらに、ホームページのリニューアルを実施し、工業倶楽部のイメージアップや会員増強を図る。

人材育成委員会

2年目となった中小企業人材確保推進事業を推進し、雇用管理改善研修会やモデル企業見学会、永年勤続表彰等を実施する。

また、新入会員へのオリエンテーションを準備し、部会やプラザの紹介等により倶楽部の活性化を促進する。

委員会名簿

敬称略、順不同（◎委員長 ○副委員長）

総務企画委員会

- ◎川崎暢義 [日本有機(株)]
- 岩元正孝 [カクイ(株)] 野元浩一郎 [京セラ(株) 鹿児島国分工場]
- 小城年久 [小城製粉(株)] 鮫島吉廣 [鹿児島大学 農学部]
- 林 隆秀 [林建設(株)]

広報・デザイン開発委員会

- ◎(代理) 黒瀬廣幸 [(株)トライ社]
- 柳田博文 [(株)スペースプラン] 田中秀人 [(株)フラッグタナカ]
- 中崎宗治 [(株)中崎電子工業] 松下清志 [(株)マツシタデザイン]
- 松下謙一 [(株)丸松] 森重匡世 [(株)フォーエム]

産学官連携委員会

- ◎上田 享 [(株)モレックス喜入]
- 長野正信 [坂元醸造(株)] 石田修 [日本澱粉工業(株)]
- 高橋美博 [(株)グッドコミュニケーションズ]
- 益留福一 [マトヤ技研工業(株)] 山下賢治 [(株)マツオ]

人材育成委員会

- ◎溝石公一 [(株)栄電社]
- 横山勝一 [大協(株)] 稻盛一穂 [(株)稲盛機工店]
- 梯 広幸 [ソニーセミコンダクタ九州(株) 鹿児島テクノロジーセンター]
- 中西斉隆 [(株)豊島メック] 中村義博 [日本浄水管理(株)]
- 藤崎茂実 [藤崎商事(株)] 板山孝司 [(有)マチダ商事]
- 山之氏秀行 [鹿児島酸素(株)]

異業種交流委員会

- ◎木村由美子 [ドリーきかく(有)]
- 久永修平 [久永情報マネジメント(株)] 安藤正和 [(株)朝日印刷]
- 片野坂正勝 [南九食品(株)] 黒田清忠 [(株)ランドアート]
- 斎藤嘉朗 [インフラテック(株)] 清木場真一 [(有)清木場果樹園]
- 竹田靖史 [放送大学鹿児島放送学習センター]
- 森田俊彦 [森田林産(株)]

鹿児島大学との連携

鹿大産学交流企画 実施委員会担当	◇総務企画委員会 ◇産学官連携委員会 ◇異業種交流委員会
鹿大学生 支援委員会担当	◇広報・デザイン開発委員会 ◇人材育成委員会

事務局からのお知らせ

1. 農商工連携支援事業の推進

- **農商工連携セミナー** 6月16日
九州地域活性化支援事務局プロジェクトマネージャー鳥丸聡氏が農商工連携推進の背景や取組みのあり方等について講演。その後意見交換会を実施。
- **農商工連携勉強会**
 - ①出水地区プラザ(農商工連携勉強会) 5月19日
鹿大農学部侯徳興准教授が鹿児島黒野菜の機能性について講演。その後情報交換等を実施。
 - ②農業法人協会と食産業部会の絆を深める交流会 6月18日
工業倶楽部から小城部会長ほか40名、農業法人協会から26名参加。相互の経営資源等を情報交換。
- **農商工出会い交流会 in 川薩** 7月28日
鹿大農学部坂田祐介教授が鹿児島大学の農産遺伝資源の活用戦略と題して講演。相談指導に阿部副学長、遠矢コーディネーター。地域の農林漁業者との交流や情報交換等を実施。
- このほか、鹿屋での出会い交流会、農商工連携推進大会、先進企業見学会等を実施していく予定。

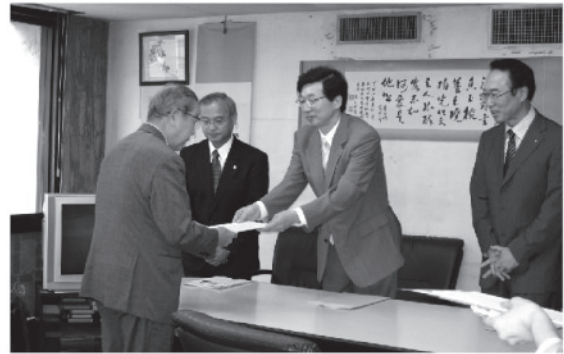
2. 来春の採用枠拡大について

鹿児島労働局、県、鹿児島市、県PTA連合会から、来春の新卒者にかかる採用枠を拡大して欲しい旨の要請がなされました。

以下、工業倶楽部へお見えになった方々と来訪日です。

平成21年

- 6月30日 鹿児島市長
(大山直幸経済局商工観光部長)
- 7月2日 鹿児島労働局(今野文平局長)
鹿児島県知事(布袋嘉之商工労働部長)
鹿児島県教育委員会(原田耕蔵教育長)
- 7月24日 鹿児島県PTA連合会(岩崎昌弘会長)
鹿児島県連合校長会長
(石塚寛就職対策委員長)



しよつんしおけ

(焼酎の塩気)

「こだわり」へのこだわり?

食へのこだわりを持つ人は多い。「こだわりの一品」と聞くと、初老のグルメが豊富な食体験や該博な知識の中から選び抜いた究極の逸品を連想する。

こだわりとは本来否定的ニュアンスを表す言葉であったのはご承知のとおり。グルメブーム等で食材や料理に厳しく洗練された嗜好

が主張される今日、反転しての使用にもはや違和感はない。

時代により嗜好や概念が反転し、マイナーであったものがメジャーに、マイナスイメージがプラスイメージになる例は多い。

Tシャツやジーンズが晴れのアイテムに、メガネがプラスイメージに、焼酎がエスニックからオールジャパンになったのも、嗜好の多様化が進む中、良質でリーズナブルなものを際限なく求める消費者心理に、新製品の開発等を通して企業が仕掛け続けてきた結果であるはず。

どうせなら、世の中の嗜好や概念を反転させてしまおうくらいの「こだわり」を持ってないものだろうか？！

「工業倶楽部サロン」募集のお願い

市内および各地方に「工業倶楽部サロン」として場を提供していただける会員企業を募集しています。

会員企業の皆さまの中で、社内の空きスペースを「会員交流の場」、「製品展示の場」などとして、お貸しいただけませんか。皆さまのご協力をお願いいたします。詳しくは「工業倶楽部事務局」まで。